



黄色い背景に、五つの精霊が集まっています。真ん中で両腕を高く上げている明るい黄色の精霊は、空間の精霊アカシャです。背中には音符のような翼があり、おなかにはこのカードの番号「21」が書かれています。アカシャは五つの精霊の中心で、ほかの精霊を導いています。

左上の茶色い大地の精霊には、小石のような角があり、少ししょんぼりしています。右上のミント色の空気の精霊は、雲のような髪をしています。一度にたくさんのかんじを感じて疲れたように、体がだらりとしています。左下の赤い火の精霊は、大きく笑って両手を伸ばしています。髪までつながる体は、炎のように見えます。右下の青い水の精霊は、火の精霊の熱を敏感に感じ、ふっと息を吐いています。

五つの精霊は、姿も感じ方も違います。出会うと、それぞれの感覚で反応します。このカードが描くのは、同じ姿になることで生まれる世界ではありません。異なる存在が出会い、影響を与え合いながら、一つの世界をつくる姿です。

20



THE JUDGEMENT

黄緑色の翼を広げたパブリカの天使が、ピンク色のアイスクリームの悪魔と出会います。天使の頭の上には丸い輪が浮かび、両手には赤いボクシンググローブをはめています。悪魔にはサクランボのような角があり、オレンジ色の不規則な形の翼がついています。

アイスクリームの悪魔は、パブリカの天使を「一緒にアイスクリームを食べに行こう」と誘います。しかし天使は断り、自分の守りたいもののために拳を振ります。殴られた悪魔は、空へ飛んでいきます。

この作品では、作家がつくった物語の中で、パブリカとアイスクリームが異なる選択を象徴しています。天使と悪魔の戦いは、自分の体をどういたわるかを決め、その選択を行動に移す場面を表しています。



このカードは、前の「月」のカードから続く物語です。崖を登りながら不安に震えていたマノンイが、ついに困難な道乗り越えました。自分の頑張りを喜び、「恐れと混乱を乗り越えた自分って、すごい！」と叫びます。

マノンイの体は、薄紫色から鮮やかなピンク色に変わりました。強くなった自信を、色の変化で表しています。

空からは太陽の神が虹に乗って降りてきて、マノンイを迎えます。太陽の神は頑張りをほめ、二人は一緒に虹の上へ登っていきます。「月」が恐れの中でも登り続ける時間だったとすれば、「太陽」は歩んできた道を振り返り、達成したことを喜ぶ時間です。



布の包みを結んだ棒を持つ、ニンニクのキャラクター、マノンイが震えています。体全体が、不安で小刻みに揺れています。

「恐れや混乱を、一人で乗り越えられるだろうか」と考えながら、汗のような汁を流しています。

それでも、包みと月見草には、マノンイが諦めずに困難を乗り越えるという希望が込められています。

空に浮かぶ四つの星も、つらさを感じて一緒に泣いていますが、もう一度挑戦したいという願いも抱いています。



このカードは、物語『星の王子さま』をモチーフにしています。ヒマワリの猫のヘヤンイと、ナスのキャラクターのカシリが、いくつもの惑星を背景に、宇宙で楽しそうに遊んでいます。

友達をつくりたくても難しさを感じている人が、気の合う友達と出会ったとき、孤独が消えていく。その喜びと希望を込めました。

明るい空色の宇宙は、広い心を表しています。惑星と月を青、オレンジ、緑に塗り分け、異なる友達との旅を描きました。

六つの明るい空色の五角の星には、友達と分かち合った思い出が込められています。



このカードは、史跡「ピサの斜塔」をモチーフにしています。主役の塔が持つ意味を表すため、あえてカード全体が不安定に揺れるような構図にしました。

塔をよく見ると、上の茶色から緑を経て、下の黄色へと色に移り変わっています。茶色の上部、五階から四階は、繰り返し道を外れることを表します。緑の中央、三階は今の自分です。黄色の二階から一階は、道を外れた状態から抜け出し、よい方向へ進みたいという願いを表しています。ここでは、道を外れることを「善良な心が壊れること」という意味で使っています。

月は塔を見下ろすように右へ傾き、五つの黄緑色の五角の星は、もう一度立て直そうと励ますように輝いています。



ブルーベリーシロップが流れるアイスクリームの山の頂に、大きなハンバーガーの形をしたマカロンの悪魔が座っています。目を閉じて舌を出し、満足そうに笑っています。頭の上には黄色い八角の星の輪が浮かび、背中の二対の翼はチョコレート色とミント色です。

下には、小さなマカロンの悪魔が二人います。緑色の悪魔は怒り、ピンク色の悪魔は涙を流しています。真ん中の悪魔が、自分の分だけでなく、友達の食べ物まで奪って食べたからです。緑色の悪魔はほんの少ししか食べられず、ピンク色の悪魔は十分に食べられなくて、やせてしまいました。

頂に座る悪魔は、王様になったかのように楽しんでいますが、下の友達はそうではありません。このカードは、一人の欲が、ほかの存在の食べ物を奪う様子を描いています。

大きなマカロンの悪魔は、友達の顔を見て、自分の行動を変えられるでしょうか。



琥珀のようなオレンジ色のミツバチ、エムビが、汗を流しながら縄跳びをしています。食べ物を食べ過ぎたあとで、自分の欲を振り返っています。目を細め、歯を食いしばる顔には、自分を抑えることの難しさが表れています。

遠くでは、紫色の恐竜ディアプが、数字の「1」と「4」がある建物の上からエムビを見守っています。ディアプは、エムビが自分の行動をどう変えていくかを見届ける存在です。空の月には、まだ光る部分が見えません。作品の物語では、エムビが節制できると月が満ち、できなければ再び欠けていきます。月の変化には、一度では終わらない選択と練習が込められています。

13



THE DEATH

アフリカンマリーゴールドのバレタと、ワスレナグサのミティスは、長い付き合いの友達です。意見が合わず、けんかをすることもありましたが、困ったことが起きると、また手を取り合って解決してきました。ところがある日、ミティスが突然、命を終えます。バレタは友達を忘れないように土を集め、家の形のお墓をつくり、屋根に十字架を立てます。

しばらくすると、翼のあるミティスの魂が空から降りてきます。二人は再会し、これまで話せなかったことを語り合います。しかし、ミティスが地上にいられる時間は長くありません。空へ帰るミティスは、緑、青、紫へと続く花びらをまきます。一緒に過ごした時間を忘れていないという、別れのあいさつのようです。

ミティスが去ったあと、バレタはお墓を訪ね、友達を思いながら歌います。バレタも生涯を終えると、ミティスの魂と再び出会います。このカードは、死によって友達を失う悲しみ、長く残る記憶、そして、もう一度会いたいという気持ちを語っています。



背の高い黄色いアキノキリンソウのミチと、背の低い緑色の芽キャベツのバチュが、一緒に木に登ります。先に頂まで登ったミチは、丈夫な枝にツルを結び、自分の脚にも巻きつけます。バチュにバンジージャンプを見せようとしたのです。しかし、ツルが短過ぎて、ミチは木の下のだリギの近くで、逆さにつられてしまいます。

あとから登ってきたバチュは、ツルを結ばずに飛び降ります。バチュが勢いよく落ちると、ミチは友達をつかもうと腕を伸ばします。ミチは体から出るワカメのにおいを刃に変えてツルを切り、バチュを追って降りていきます。しかし地面に着くと、バチュは見当たりません。バチュは地上で自由に踊っているうちに人に見つかり、シチューの材料になってしまったのです。

このカードには、木に逆さにつられたミチと、下へ落ちるバチュが描かれています。同じ場所で異なる選択をした二人は、思いがけない別れを迎えました。



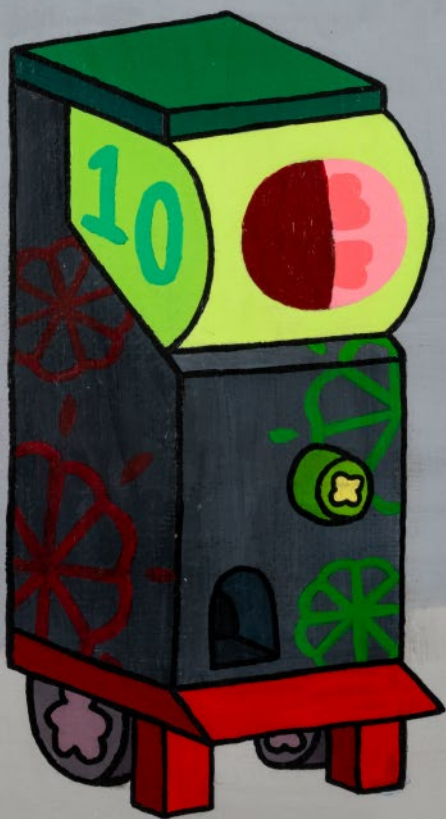
THE JUSTICE

ヒサカキのジャスピが、山の頂で叫びます。「自由に生きよう。自分の体を守り、最善を尽くそう！」ジャスピの語る自由には、自分で選ぶ権利と、自分をいたわる責任の両方が含まれています。

小さな種だったころ、ジャスピは目立たない存在でした。自分がどんな存在なのかを示そうと、山に登ることを決めます。足を滑らせて転げ落ちそうになった日も、川に落ちかけた日もありました。枝や葉を失うこともありましたが、再び伸ばし、何年もかけて登り続けました。

ついに頂に立ったジャスピの背中には、大きな葉が翼のように生えています。頭の上の三つのオレンジ色のひし形は、自分で決めた道を歩いたジャスピに贈られた王冠のようです。このカードは正義を、誰かに認めてもらう場ではなく、自由に選び、その選択に責任を持つ過程として描いています。

THE WHEEL FORTUNE



このカードでは、珍しくカプセルトイの機械が主役として登場します。

機械には月と四つ葉のクローバーが描かれ、背景にも同じモチーフが繰り返し現れます。

カプセルトイは、望む結果にかかわらず、何が出るかが偶然で決まる仕組みです。その仕組みを、四つ葉のクローバーが象徴する「幸運」と結びつけました。

機会が訪れたらためらわずにつかみ、物事を成し遂げる、という意味を込めています。

前面の月は半分に分け、その中に四つ葉のクローバーの半分を描き、「よい機会」という意味を強調しました。



紫色のカエル、ベールゼブフォが、水辺に座り、目を半分閉じて舌を出しています。この池を長い間、住みかにしてきました。餌を探し、身を隠し、危険を避けることを繰り返すうちに、動くことさえ面倒になっています。紫色の体には隠れたい気持ちが、空色の水辺には自分を守りたい気持ちが込められています。

ところが、片方の腕は夜空の月や星に向かって伸びています。足元の水にも、小さな渦が生まれています。家にとどまりたい気持ちと、もう一度、光の中へ出たい気持ちが、同時にあるのです。ベールゼブフォはまだ動いていませんが、外の世界への思いまで消えたわけではありません。



ドレッドノートスの戦士が、引き締まった表情で前を見つめています。赤い目には、後ろへ引かないという決意が込められています。左手にはハンドグripper、右手にはダンベルのような武器を持っています。戦士は岩を削って自分で道具をつくり、仲間を守るために使ってきました。

肉食恐竜やライバルとの戦いで、首やおなかには傷がつかしました。それでも、戦士は諦めません。足元の岩は、これからも自分を鍛え続ける決意を、尾についたゴムバンドは、もっと成長したいという気持ちを表します。頭の上の太陽や、周りに広がる花と光には、仲間からの応援が込められています。このカードの力は、一人だけの力ではありません。守ってきたつながりとともに、再び立ち上がる勇気でもあるのです。



勇気を表すために、背景を赤系の色で塗りました。箱のような飛行機には、「前進」の意味を重ねています。右の翼には「07」が書かれています。逆さにすると、腰に手を当てた人のように見えます。この数字は、自信と勇気も象徴しています。

飛行機には、ピンク色のロゼトッポッキの姿になったポッキと、父がウサギ、母がニンジンのキャラクター、タントが乗っています。二人は心配のない笑顔で手を伸ばしています。旅の途中の苦しみや不安を、ピンク、赤、朱色、オレンジに光る流星群と、ピンクの月で表し、それらを自信と勇気で乗り越えた姿を描いています。

飛行機の下は地面は、赤からオレンジ、黄色へと変化しています。そこに生えた三つのキノコは、二人がたどり着く友情の目的地を表しています。



バラのようなピンクの光の輪を放つ月の下で、セリとテリが肩を組み、笑っています。セリは、ウサギと三日月、元素のセレンを組み合わせたキャラクターです。テリは、ハムスターと地球、元素のテルルを組み合わせています。

このカードには、正位置と逆位置の区別をつけていません。純粹に、絆と友情、喜びをテーマにしました。満月は、それらを象徴しています。

月を囲む光の輪は、絆と友情が喜びとなって広がっていく様子を表しています。

05



THE HIEROPHANT

ヒマワリに似たヘバチと、小さなつぼみのヘネリが、野原で誰かを応援しています。ヘバチはヒマワリの帽子をかぶり、両手に応援の道具を持っています。ヘネリは隣で踊り、二人は日差しを浴びながら歌って笑っています。

このカードの教えは、厳粛な教え方よりも、力を与える応援として表れています。ほかの友達もヘバチの歌を聞き、もう一度動き出す力をもらいます。足元の花は日差しと笑いを受けて、オレンジ色に染まりました。一人から次の人へと、応援が広がっていく姿を描いたカードです。



THE EMPEROR

タイガーアイから生まれたタイギが、運動場でサッカーボールを転がしています。トラのような耳と長い尾があり、体には黄色と茶色のしま模様がついています。片目を閉じ、明るく笑いながら、元気に動いています。

サッカーが好きなタイギは、一日に何度もボールを蹴ります。体を動かし続けながら、自分の力を育ててきました。おなかの三角やひし形の模様には、サッカーだけでなく、ほかのスポーツもやってみたいという気持ちが入っています。タイギは、新しいスポーツに出会い、練習を重ねて、夢の「スポーツの王様」に少しずつ近づこうとしています。

03



THE EMPRESS

バラに似た母親のロドミが、空色のベビーカーを押しています。乗っているのは、野バラに似た赤ちゃんのチルレです。ロドミはチルレの幸せを願い、チルレはロドミが病気にならないことを願っています。

二人は、互いを思う気持ちを集め、魔法のように服をつくりました。ロドミはピンクのバラの服、チルレは黄色い野バラの服を着ています。

二人と一緒に野原を進み、新しいことを学ぶたびに、足元にはハートや星の形の花が咲きます。世界への好奇心と感謝の気持ちが、花になったのです。このカードは、一人だけが相手を世話するのではなく、互いを大切にしながら一緒に育つ関係を表しています。



エトウルランは、白いトーチジンジャーの花から生まれた妖精です。これまで暮らしてきた世界は、穏やかな灰色でした。その人々は、互いを傷つけないように、自分の個性を表すことにも慎重です。しかし、エトウルランはいつも別の世界に興味を持っていました。緑の目を輝かせて周りを見渡す姿にも、その好奇心が表れています。

エトウルランは、花と葉を華やかな服に変え、大きな葉の上に立ちます。新しい場所へ飛び出すための発射台のようです。周りに止められても、旅を始めようとしています。これから困難に出会うかもしれません。それでも、その時間を経て、自分ならではの姿へと育っていくでしょう。



THE MAGICIAN

ピクセルアートと仮想現実をテーマにしたカードです。フローライトのキャラクター、ポロが、VR機器を身につけ、ピクセルアートを描いています。ジャケットには、木のような電子回路が描かれています。

ゴーグルには大きな目が一つあり、ポロの口は笑っています。新しいことに挑む気持ちを、アバターのよう
に軽やかに表しました。

月も、いつもの丸い形ではありません。ドット絵のように描くことで、仮想世界らしい感覚をいっそう強めています。



THE FOOL

紙の船の形をした帽子をかぶる、灰色の探検家が、七枚のカードの前に立っています。クリアクォーツから生まれたキャラクターです。目を輝かせ、口を丸く開けているのは、カードの中にどんな物語があるのか気になっているからです。

紙の船の帽子には、知らない場所へ旅立つ人の気持ちを込めました。

七枚のカードには、赤、オレンジ、黄、緑、空色、青、紫が使われています。虹のように続く色は、一枚一枚に異なる物語があることを表しています。

探検家は、一つずつ物語に出会い、世界を見て回りながら、自分が誰なのかを知っていきます。この旅の終わりに、どんな自分と出会うのでしょうか。

© 2026 Wecation Co., Ltd. 出版レーベル「ソックルアム」

代表取締役 オ・ジョンミン

すべての作品およびコンテンツは著作権法により保護されています。無断での複製・配布・改変を禁じます。

本書に掲載されたすべての文章および画像の著作権は、それぞれの著作権者に帰属します。

著作権者の事前の書面による同意なく、本書の全部または一部を複製・転載・配布・公衆送信・翻案したり、商業目的で利用したりすることは、大韓民国の著作権法により禁じられています。

初版第1刷 印刷	2026年10月20日
初版第1刷 発行	2026年10月30日
住所	大韓民国 釜山広域市東区中央大路296番キル3-3 女性企業総合支援センター505号室
電話	+82-10-2761-3805
メール	foundationlove@naver.com
ISBN	
価格	50,000韓国ウォン（タロットカード付き）
企画・キュレーション・アク セシビリティ・執筆・発行人	Wecation Co., Ltd. 代表取締役 オ・ジョンミン
出版・発行	Wecation Co., Ltd. ソックルアム
作品	シン・ヒョンチェ
アトリエ・作品の写真撮影お よび映像撮影	アートプラント代表 ユク・ジンファ
デザイン	Lubpo代表 オ・ジョンヘ

アーティストが運営する企業
Wecation Co., Ltd.

X

アーティスト
シン・ヒョンチェ



パンフレット



Instagram



ウェブサイト

